

## 仕事について考える

札幌大谷大学社会学部  
教授 平岡祥孝

## 朝夕の

涼しさで気分は爽快になるものの、過

ぎゆく夏を惜しむ気持ちも湧いてくるのですね。ともあれ月日が経つのは早いもので、1年の3分の2は終わってしまいます。

就職情報会社マイナビの調査（3～4月実施、新入社員2768人回答）によれば、今春入社の新入社員はプライベート派53・3%、仕事派45・1%で、2011年調査開始以来、プライベート派が初めて仕事派を上回ったそうで8日付記事）。

また、日本生産性本部などが今春の新入社員に実施したアンケート調査（3～5月実施、2026人回答）によれば、「人並みに働けば十分」との回答が53・5%で、1969年度の調査開始以来過去最高だつたそうです（『北海道新聞』2015年7月10日付記事）。

もちろんワークライフバランスが浸透し始めたことは、好ましいことです。それは健全な職業生活を営む条件の一つでしょう。終生

ワークホリックを目指すことは時代に合わせて変えていかなければなりません。それは一言で言え

それぞれ。その人の人生観・価値観が投影されますから。しかるに、筆者の恥多き仕事人生を振り返ると、「仕事は人生道場」とは言い過ぎも、やはり人は仕事で鍛えられ磨かれるのではないでしようか。人間関係も仕事を通して作られますね。

したがって、プロレタリア文学の傑作のひとつである、小林多喜二の『蟹工船』を髪飾させるような職場は論外としても、入社3年間ぐらは仕事中心の生活を送る方が、仕事人としての土台が築かれると思います。石の上にも三年。楽したい自分、逃げたい自分等々、弱い自分と戦いながらも自ら克服していくかないと、長い仕事人生を歩み続けることは困難です。退職を迫る過重労働と容赦なき罵倒や叱責は、無きにしも非ず。

しかしながら、正常な組織の論理としては、能力のない者に厳しい仕事を果たして任せること。能力を認めて育てるために挑戦させることではないでしょうか。好機到来ならば、ここは人並みの働きでは不十分です。期待値以上の結果を出すべく、精一杯努力しなければならない場合でしょうね。

自分自身の人生ですから。自分の速度感覚で、仕事と私生活の調和を図っていくことが大切なではないでしょうか。あくまで



【ひらおか・よしゆき】札幌大谷大学社会学部教授。英国の酪農経営ならびに牛乳・乳製品の流通や消費を研究分野としている。女子学生の就職支援やインターンシップ事業に携わってきた経験から、男女共同参画、ワーク・ライフ・バランス、仕事論、生涯教育などのテーマを中心に、講演やメディアでも活躍。

ならば、「放任文化」から「関与文化」への変革です。業務遂行上においては、上司や先輩が多少なりともお節介な方が、新人さんにとっては望ましいのではないかで

しょうか。もちろん、プライベートへの過剰介入はご法度ですが。そして自省は成長の原点。老婆心ながら、新人時代から夜郎自大の若者になつてはいけません。謙虚さを忘れることがなく、陰日向なく、ありのままの自己に仕事の自信を付けていくためには足元を固めつつ、実績と信用の地道な積み重ねが何よりも肝要です。

新人さんに告ぐ。「不平・不満を言う前に、まずは仕事に没頭してみては如何かな。」いつもながらの筆者の独断と偏見ですが、最近の若者は理屈とすり替えは芸術家肌、そして受身と指示待ちの大家、さらにはリスク回避の天才が少なからず、と言えましょう。

将来の仕事人生を意識しつつ、自分の速度感覚で、仕事と私生活の調和を図っていくことが大切なではないでしょうか。あくまで

今年の上浦幌の夏はとても暑かったです。

## ちびっこ ギャラリー

### 上浦幌ひまわり保育園 ぞう組のみんな

お父さんたちが作ってくれた

ビニールハウスのブームで

たくさん遊びました。

もぐれるふうになりました

お友だちもたくさんいました！



8月が過ぎると豊穣の秋  
本番を迎えるが、最初の収穫である小麦の刈り取りが例年より早く無事終わりました。

一番早い収穫である小麦が今年の出来秋を占うだけに、旱魃で心配していましたが、予想を上回る収穫であり、農家の皆さんのが明るい笑顔が見られます。

7月には日立建機の試験場開設25周年をお祝いする式典が開催されました。辻本社長をはじめ、役員の方々とともに歴代の試験場長さんも全員顔を揃えて式典に参加され、開設当時からのビデオも流れ、開設当時を振り返りながら関係者の皆さんのご苦労に改めて感謝する会ともなりました。

記念に日立建機さんから世界で活躍している超大型のダンプと重機の金であしらつたミニチュアを寄贈していただきましたので、役場応接室に飾らせていただいているます。

英語指導助手（ALT）の二コル・リー・ワグナーさんが3年間の指導期間を終えて、出身地のアメリカシカゴへお帰りになりました。

お別れの出発式には多くの町民が集まり、別れを惜しんでいましたが、本当にありがとうございましたとお詫びを申し上げました。

小学校から中学校までの児童・生徒の指導ばかりではなく、「二コルの英語なんて怖くないよ！」などで多くの町民とも触れ合う機会が多くありました。私は、公私共に浦幌町に溶け込んで、浦幌の生活を満喫していました。涙のお別れとなりましたが、がら関係者の皆さんのご苦労に改めて感謝する会ともなりました。

この村山談話は60年の小泉談話など歴代の内閣に引き継がれてきましたが、不戦の誓いを守り続ける、そして国民の命と平和を守りぬくという決意の下に「平和安全法制」を閣議決定したという安倍首相です。安倍改正関連法案については集団的自衛権のように行学者の中で違憲を指摘している声も多い中で、国民の理解を得ているとは言い難いものがあります。

代わってコレット・イザベル・イングリッシュさんが8月から英語指導助手としてフルフォルニアから来日してくれました。浦幌町長 水澤一廣

れましたので、これからは二コルさんと同様に宜しくお願ひ致します。

今年は終戦後70年を迎えて、数々の行事が行われていますが、戦後50年の村山富一首相の談話は今日の平和と繁栄を築き上げた國民に敬意を表すし上げました。

この村山談話は60年の小泉談話など歴代の内閣に引き継がれてきましたが、不戦の誓いを守り続ける、そして国民の命と平和を守りぬくという決意の下に「平和安全法制」を閣議決定したという安倍首相です。

2年続いた「原子力発電ゼロ」が川内1号機の再稼動で終わりを告げましたが、東日本大震災による福島第1原発の事故で避難を余儀なくされている皆さんには複雑な思いを持つて受け止めていると思います。

原子力に依存しない発電所が日照率の高い浦幌町で着工される事は願つても無い事であり、環境に負荷をかけない電力が供給される事を喜び合いたいものと思います。

浦幌町で3番目となるメガソーラーの建設が町内国道38号線沿いの太平で進められています。

「シャープ浦幌太陽光発電所」といいますが、パネル9366枚で2・34MW、802世帯をカバーできるメガソーラーです。

2年続いた「原子力発電ゼロ」が川内1号機の再稼動で終わりを告げましたが、東日本大震災による福島第1原発の事故で避難を余儀なくされている皆さんには複雑な思いを持つて受け止めていると思います。

争を起さない不戦の誓いを安倍総理が談話の中にどのよう盛り込むかも注目されます。

戦記念日を前にして、再び戦